

長田会計事務所

通信 2018年12月号 Vol. 150

【TOPICS】

- 1P: ◇老子「上善の言葉」 ◇お仕事備忘録 ◇12月の勉強会のお知らせ
2P: ◇人の輪数珠つなぎ 特別編 ~中野電機株式会社 中野安則氏~
3P: ◇インターンシップ生が卒業しました
4P: ◇未来へ続く道 ◇年末調整・所得税確定申告の準備をお願いいたします!
5P: ◇未来そぞう塾レポート
6P: 長田会計事務所の〇〇なコト ◇豊の部屋 ◇今月のおやつ ◇編集後記

【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111
FAX 06-6944-2110
Mail nagata@office-smile.jp
HP http://office-smile.jp/

【編集部】

編集長 遠藤 悅代
部員 木下 雅子
発行責任者 長田 雅子

老子「上善の言葉」

はなは たいら しかも こみち
大道は甚だ夷らかなり、而も民は徑を好む。



大きな道はとても平坦で歩きやすいのに、人々は近道の小さな道を行きたがるものだ。

宮下真著「心の疲れがすうっと消える 老子 上善の言葉」より引用

まっとうな道を行くのは馬鹿らしいと思っている人が多い。

だから目先の損得や効率のことばかりを考えて本来の目的を忘れてしまい、大道から逸れてわざ道に行ってしまうことがある。そんな時は初心に戻り、自分が通ってきた道をときどき振り返ることが必要になる。

損得ばかりで考えて行動することはやめましょう。



年末年始の休みを取引先へ通知するとともに、取引先の休みを確認し、納期忘れ、資金の回収もれがないように心がけましょう。

○	1. 年末調整の実施	2018年12月 お仕事備忘録
○	2. 新年度の源泉徴収事務の準備	
○	3. 賞与支払届の提出	
○	4. 仕事納めの段取り確認	
○	5. お歳暮、年賀状の送付	
○	6. 年始の準備	

12月の勉強会のお知らせ

12月の未来そぞう塾はお休みです。

2018年の講座にはたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

2019年もより皆さまのお役に立ち、人生に楽しさをプラスする講座を開催して参ります。

皆さまのご参加をお待ちしております。





人の輪 数珠つなぎ Vol.19 ~特別編~



今回は特別編として「堺技衆」の企業認証をされている中野電機株式会社様をご紹介します。

堺ブランド「堺技衆」は、堺の優れた企業が、日本全国のみならず、全世界に広く認知されることによって、堺という地域全体のイメージアップと経済発展が促進され、その結果、幅広く堺市民に地域愛を醸成されることを目的としています。認証評価項目としては、「競争力」、「経営」、「市場開拓」及び「社会・観光・地域などへの配慮+貢献」の4つの視点で評価されます。

「堺技衆」のロゴマークは、堺を象徴する「仁徳陵」を象ったもので、同陵墓の造営には、測量・土木技術や製鉄技術などの童子の最先端技術が駆使されていて、堺が誇る伝統の技と高度な先端技術を内外に発信するためのシンボルとなっています。

長 お仕事は何をされていますか？

中 現在は、金属プレス加工を中心に、精密プレス金型設計製作など、あらゆるメーカー品の基板製造を手がけている。うちで作られる製品は、各メーカー品の基盤となる重要な部分にあたり、具体的には車や電化製品、設備用消火器などの製品の一部になって世に送り出されるんや。

長 各メーカーの製品に御社で作られた部品が入っているのですね。選ばれる御社の強みは何だとお考えですか？

中 うちは金属加工なら何でもできる。その中でも得意なのは、圧力容器の絞り加工や。例えば、鉄のパイプでもうちでは鉄板をカットしてプレスで輪にし、プラズマ溶接で仕上げる。鉄管を使えば、簡単やけど、それではコストがかかるからな。制度の高い芯円度を確保するのは至難の業なんや。だからこそうちの価値があるんや。いい機械がうちにあるからやない。その機械の能力を引き上げる、人間の能力が大事なんや。

長 その強みをさらに活かすために「堺技衆」の認証を受けられているんですね。

中 そうや。中小企業が生き残っていくためには競争力が必要なんや。あとは考える力を持つことやな。製品として質が良いのは当たり前の世界なので、コストも質もよくて再現性のない製品を量産することで、社会貢献をすることが大切やと思っているんや。

長 今回堺ブランド「堺技衆」の更新ですが、認証後の経営活動で競争力はどのように変化しましたか。また、その要因と取り組みの内容について教えてください。

中 商品・製品と販売面では生産性向上のための設備投資に力を入れた。新工場を建設し、多種高能率の機械設備を買って、量産体制を取り組んだわ。その後、今では自動車業界で必要な製品の技術開発をし、試作を重ね、大手よりも低価格で質の高い製品づくりをしてるんや。うちの会社が持つプレス技術を可能な限り使って、市場に対して現実性のあるモノづくりを進めているんや。

長 そんな高い技術をお持ちの社員さんがたくさんおられると思いますが、社内での取り組みはどのようなことをされていますか？

中 社内の技術承継を踏まえて組織作りを行っている。経験のある50～70代が現在の社内の中心だが、この層から役割を交代したんや。次世代の若い30～40代を中心になるように、各部署のリーダーを育てて経営体制が少しずつ整いつつある。平成27年度からは中国人実習生を雇用して、国の制度を利用しながら社内活性を行っている。中国人実習生には、技術だけでなく言葉でのコミュニケーションを重視して育成を行っているんや。

長 やはり、コミュニケーションが大事ということですね。今後は、どのような取り組みを行う予定ですか？

中 中小企業は、ヒトと設備を活かすことで企業が存続できる。現在の受注があり、現在の生産で忙しいからこそ、次のことを考えることが必要や。また、現在の生産についてもバージョンアップをすることで、次の生産を確保できる。なので、社員の技術の向上と設備の生産性向上によって、他者との競争力を高める取り組みを行っている。

それから、若手の育成を通じてその者をリーダーに置いたチームをいくつか作り、チームを集合体とする体制を作ることで、強力な組織にしていく。そのチームと組織を合わせた強力なピラミッドを作り、利益率が高くなる組織作りを行っていく。また、社員を多機能工に育て、生産に対する柔軟性を持てる経営・管理体制の取り組みを行っていきたい。その結果、生まれた利益を社会に還元することで、よりよい社会が維持発展できるよう貢献していきたい。具体的には、地域の社員雇用、適正な納税、若手の技術継承及び子供たちの育成を予定している。

長 地域の子供たちにもいろいろ還元されていますよね。

中 美原区にある幼稚園の近くにある農地をワシが個人で借り、さつまいもやスイカを植えて幼稚園児に芋ほりなどをもらうことで大変喜ばれたんや。幼稚園長が当社に訪問され、感謝の言葉を頂いたんや。今後は一地域だけでなく交流の場を広めたいと思ってる。

長 素晴らしい取り組みですね。若手に金属に対する加工技術を教えて成長を喜ばれている社長が、芋ほりをしている子供たちの笑顔が見られるように畑に芋を植えているのは、同じことかもしれませんね。

本日はインタビューを受けて頂きありがとうございました。益々の社業の発展に期待しております。



中野電機株式会社

〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通4-13-28

T E L 072-363-8166





「インターンシップ制度」

3年前、事務所の人手が不足したため人材を募集をしました。私は今まで知り合いしか雇用したことが無かったのですが、思い切って求人媒体から募集をすることにしました。あるとき、同友会の会員である、経営者の方から大学生を雇用する『インターンシップ』とう制度があることを教えてもらいました。

若手の税理士受験者数が減少していることから若手を発掘するにはいい制度だし、大学生を面接することで自分が人を見る目を養おうと思い、インターンシップ制度を導入することにしました。

「大学生は会計事務所がどんなところか知っているんだろうか」「うちのような小さな事務所でも働きたいと思ってくれるのだろうか」と不安になりながら、求人サイトに指針書やホームページに書いている想いを言葉を並べました。結果は、すぐに数人の応募があり、結局掲載期間中に20人以上の応募がありました。応募してくれたたくさんの大学生と面接し、1年目は5名のインターンシップ生を採用しました。急に事務所内に若い人が増え、所内が活気がつきました。スタッフを中心に様々な仕組みを作り、大学生の雇用を機会に職場作りを進めました。性格はそれぞれで、取り組む仕事を変えたりしながら多くの経験をしてもらいました。所内勉強会や顧客訪問などにも一緒に行ってもらい、大企業だけでなく中小企業のよさも伝えるようにしました。採用して半年でインターンシップ生たちだけでなく、事務所の雰囲気もだんだん変わっていきました。

今年は3年目。2、3期のメンバー4名がそれぞれの持ち味を發揮してくれています。

企業で人種・国籍・性・年齢を問わずに人材を活用することを「ダイバーシティ」と言い、受け容れる力が高いほど環境の変化に柔軟、迅速に対応できると考えられています。中小企業ではすべてを受け入れることは難しいかもしれません、長期的な視点で組織を作っていくことが大切なのではないでしょうか。



年末調整・所得税確定申告の準備をお願いいたします！



毎年秋になると、税務署や市町村、保険会社などから年末調整や確定申告に関する書類が届き始めます。控除証明書は再発行に時間がかかる場合があり、証明書（原本）がない場合は控除できません。

紛失しないよう保管・弊所への提出をお願いいたします。

＜参考＞書類等が届く目安の時期（発行元により、異なる場合があります）

おおよその到着時期	書類名	相手先
10月～	生命保険料控除証明書	ご加入の保険会社
	地震保険料控除証明書	
11月初め	国民年金保険料控除証明書等（基金も含む）	日本年金機構
11月上旬	年末調整関係書類	各所轄税務署
11月中旬～下旬	小規模共済掛金控除証明書	独立行政法人 中小企業基盤整備機構

※国民健康保険（各市町村）は証明書等が発行されません。

領収書、引落の額の集計をして、書類に記入をお願いいたします。

なお、平成30年分より一部書類の様式が変わっています。

詳しくは同封のインフォメーションをご確認ください。





未来そぞう塾レポート①



昨年に引き続き、コーヒー卸会社の三代目でいらっしゃる有限会社田代商店 代表取締役 田代宣達様をお招きして「おいしいコーヒーの淹れ方」を開催しました。

僕は普段からコーヒーをよく飲むので、この講座が開かれるということを聞いたときからずっと楽しみに待っていました。

内容としてはコーヒーに含まれるカフェインについてや、コーヒードリッパーの違いについて、そのドリッパーの淹れ方についてでした。前半はパワーポイントを使って説明していただき、後半は実際にドリッパーを使っての実践でした。ドリッパーを使って淹れることはあっても、適切な淹れ方というのはわかつていなかったので、この機会に学ぶことが出来てよかったです。



自分が今まで飲んできたコーヒーとは豆はもちろん、淹れ方も違い自分が想像していたもの以上だったので次はどんな淹れ方でどんな種類のコーヒーが出るのか終始わくわくしていました。

色々器具を紹介してもらった中でもサイフォンを使ってのコーヒーはアルコールランプを使ってのもので、普段見ることがない分、面白かったのと同時に仕組みがよくわかりました。また水出しコーヒーは初めて飲んだのであんなにすっきりしたコーヒーがあるのかと驚きました。

これから寒くなっていきホットコーヒーを飲む機会が増えていくと思うので、今回学んだことを活かし、自宅でも自分なりのコーヒーを淹れられればと思います。

有限会社 田代商店

〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東3丁目15番地13
TEL 06-6641-4429 FAX 06-6647-0884



未来そぞう塾レポート②



去年に引き続きスタッフの小向による「今日から使えるエクセル講座」を開催しました。

参加したのはインターンシップ生の木下、福本、田村の三名でした。グラフや表の入力方法を中心に教えてもらいました。

学校の授業で習ったのですが、すっかり忘れている部分もありました。アルバイトで販売をしているのですが、エクセルを触る業務があり、表に罫線を作ったり合計を出したりすることだけは慣っています。しかしグラフの作り方、関数の使い方など普段から使っていない機能は扱えませんでした。



他にもShiftキーを使って一括で選択するやり方などを覚えていなかったため、エクセルの便利な機能を使いこなせていないと実感しました。講師の小向は商工会議所でエクセルを習ったそうです。

エクセルを使えると、やはり使えない場合より就職活動で有利になる場合があると教えてくれました。



私は面接が得意ではないので、「エクセルが使えます！」と意思表示ができるようエクセルの資格を取ることを視野に入れたいと思っています。

早くエクセルに慣れるよう頑張りたいと思います。





インターンシップ生が卒業しました



インターンシップ生の岡です。

9月いっぽいで長田会計事務所のインターンシップ生を卒業することになりました。約1年半のインターンシップを通して様々なことを学びました。

1年半前、月次や年末調整という言葉すら知らない、税金の知識など消費税が8%であることしかなかったにもかかわらず、勇敢?にもこの事務所に飛び込みました。それでも会計や税務の知識を教えてもらしながら、少しずつ仕事を進めていくことができました。最初は本当に何も分からなかったですが、働きながらもどんどん学んでいける環境で多くのことを吸収できました。



また、業務に直接関係する作業内容だけでなく、その裏側やしくみも一緒に教えていただき、勉強会なども含め学びの多い日々でした。これから社会人になっても貪欲に学び続けていきたいと思いました。

また、会計事務所のインターン生という立場としては、「社会」というものを学生やアルバイトとは違った視点で見ることができました。普段の業務で扱う数字も最初はただの数字の羅列でしたが、毎月取り組んでいる会社だと1ヶ月の会社の中でのお金の流れを感じることが出来ました。

材料を仕入れて、売って、利益を出すなんて知ってるわ!と思っていましたが、実際にお金が動いているところを見ると色々なことを感じました。例えば、毎月給料を従業員に払うことでも実はとても大変なことで、預らせていただく通帳のコピーから何十万、何百万が毎月毎月支払われているのを実際に見て、お金や人を雇うことの重さというものを少し実感できた気がします。

また、業種や職種について広く知れました。そこから、なんとなく知っている業界もこんな会社に販売しているんだなど、担当した会社だけでなく、その会社の取引先などたくさんの会社と繋がりながら成り立っている社会を実感できました。



更にこの半年間は新聞に連載している経営者の方へのインタビュー『人の輪数珠繋ぎ』の編集を担当しました。この仕事からは本当に様々なことを学ぶことができました。経営者の方の話を直接聞いたり、それをまとめていったりする中で、何度も何度も反芻、推敲し、それぞれのお話が濃く自分に染み付きました。そして、経営者の方の熱意や洞察の深さには本当に驚きました。

圧倒的な努力量と熱意で取り組まれていることがヒシヒシと伝わってきて、とてもいい刺激を受けることが出来ました。それこれが会社の利益だけでなく、どのような社会を実現するか、従業員にどうなってほしいかなど、どれもはっと気づかれる内容ばかりでした。本当に感謝しています。

新聞を通して皆さんに共有することは難しかったですが、読んで何か少しでも引っかかるものがあれば幸いです。また、実は自分が文章を書いたり考えたりする事が好きなことにも気づけました。



長田会計事務所のインターンでは自分が本当に成長できたなと感じています。就職活動を通して自分の考え方を整理していったときに、働くことへの考え方はこの1年半のインターンで大きく変わったなと実感しました。

自分のキャリアのスタートは長田会計事務所なのかなと思います。

本当に感謝の気持ちでいっぽいです。ありがとうございました。



遠藤 悅代

(スタッフ)



好きな食べ物のと言えば「うどん」

です。私の両親の故郷岡山県鴨方町は「備中手延べそうめん」の産地で、子供のころから手延べのそうめんやうどんを食べて育ってきました。手延べうどんは包丁で切らないため角がありません。讃岐うどんほどコシが強くなく、大阪のうどんほど柔らかくありません。棒にひっかけて伸ばすので、折り返しのところは「バチ」といわれて、味噌汁の具などにしていただきます。お出汁はいりこもよく使われています。

最近乾麺を見かけるようになりました。



見つけたら召し上がりみてください。

望月 彩愛

(インターンシップ生)



先日、初めて広島へ行った時に初めて食べました。正直、ウニはあまり好きではないですし、クレソンも食べたことなかったのですが、「ワカコ酒」というアニメで見たのをきっかけにどうしても食べたくなり、今回の広島旅で絶対に食べようと心に決めていました。ウニとクレソンをバター醤油で炒めたシンプルな味付けですが、ビールとの相性もよく酒飲みの私としては最高のおつまみになりました(笑) お値段は全く可愛くありませんが、広島を訪れた際にはまたウニクレソンを食べたいなと思います。



豊の部屋



緑の中で、考え中…。
冬にはバルコニーのパキラたち
を室内に入れます。

今月のおやつ



年々盛り上がりを見せるハロウィン。

今年はお客様がハロウィンぽいお菓子を差し入れてくださいました。

編集後記

インターンシップ生で編集部員の木下です。校正係の岡君が卒業したので分担して引き継ぎをします。編集部では「インタビューの記事のまとめ」がありますが、私は自分自身の記事を編集するよりも大変だと思っています。任されることがあれば、紙面の編集と合わせて頑張りたいと思います。

岡君お疲れ様でした！



長田 豊

好きな食べ物は「たけのこ」やな。
歯ごたえがいいのが、すごくいい。

それから、わかめと煮たたけのこは、
ぬるっとして美味しい。そのうえ、
ヨメさんが炊いてくれる若竹煮が美味しい！！



福本 雄基

(インターンシップ生)



僕が好きな食べ物は「海鮮丼」です。特に「うに丼」は年に何度か無性に食べくなります。海に近い地域に行くと名産品を無視して食べることもあります。東京に寄ったときには築地には寄るという観光ルートを定番にしていたのですが、なんだかんだ豊洲に移転したので東京駅からは遠くなってしまいました。ある意味話題の場所なので機会があれば観光してみたいですが、とにかく美味しい海鮮を出し続けていただきたいです。

